

「満州 日米対立の火種」 関係年表

嘉永 6	1853	6. 4	ベリーの黒船、浦賀に来航	船38	1905	7. 1	満州軍総司令部、占領地での日本人の営業・居住を許可
安政 5	1858	6. 19	日米修交通商条約調印(7~9月、蘭露英仏と「安政の五条約」)			8. 10	ポーツマスで日露講和会議始まる
明治 4	1871	11. 12	岩倉使節団、米欧へ出発			8. 22	桂と原敬の間に「政権譲渡」の約束
6	1873	10. 一	露、ウラジオストック軍港建設			8. 29	日露講和交渉妥結
10	1877	2. 15	西郷隆盛、兵を率い鹿児島を進発。西南戦争始まる			9. 1	米鉄道王ハリマン来日
		9. 24	西郷、城山で自刃。西南戦争終わる			9. 4	後藤新平、奉天に児玉源太郎を訪問
12	1879	8. 10	米前大統領グラント将軍来日、明治天皇に議会政治について助言			9. 5	講和条約調印。日比谷焼き打ち事件
						9. 26	関東総督府、旅順に設置
15	1882	4. 6	自由党総理板垣退助、岐阜で襲わる			10. 12	桂・ハリマン予備協定の覚書交換
18	1885	12. 22	内閣制度発足。初代首相に伊藤博文			10. 15	講和条約の批准書交換し発効
24	1891	5. 31	露、シベリア鉄道起工			10. 16	講和会議全権の小村寿太郎帰国
27	1894	7. 16	日英改正通商条約調印			10. 27	ハリマンに「予備協定破棄」通告
		8. 1	清に宣戦布告、日清戦争始まる			12. 7	満州軍総司令部凱旋
28	1895	4. 17	下関で日清講和条約調印			12. 21	第1次桂太郎内閣総辞職
		4. 23	露、仏、独の三国干渉	39	1906	12. 22	小村、北京で「日清満州条約」調印
		5. 4	閣議、遼東半島の全面放棄を決定			1. 7	第1次西園寺公望内閣発足
		8. 6	台湾に軍政、総督府条令施行			2. 16	伊藤博文の別邸で「大磯秘密会談」
29	1896	6. 3	露清密約。対日攻守同盟を結び、露は東清鉄道の敷設権を獲得			3. 3	外相加藤高明が辞職
						3. 19	英大使、満州の軍政について西園寺首相に抗議。26日には米國務長官も
30	1897	6. 16	米・ハワイ併合条約調印			3. 31	鉄道国有法公布
31	1898	2. 26	第4代台湾総督に児玉源太郎。民政長官に後藤新平を起用			4. 15	西園寺、若槻礼次郎らと満州視察へ
		3. 27	露、遼東半島を25年間租借			5. 22	満州問題協議会、軍政撤廃を決める
		4. 21	米西戦争始まる			6. 7	南満州鉄道会社設立の勅令公布
32	1899	12. 10	米西戦争終結。米は比島、グアム獲得			7. 1	鉄道警備の独立守備隊第1大隊編成
		7. 17	日英改正条約実施。治外法権撤廃			7. 13	満鉄設立委員長に児玉源太郎
		9. 6	米國務長官、中国の「門戸開放」提唱			7. 23	児玉源太郎死去。53歳
		12. 一	新渡戸稲造、米で「武士道」を出版			8. 1	関東総督府を関東都督府に改める
33	1900	6. 20	義和団、北京の各国公使館を包囲			9. 10	満鉄の株式募集始まる
		8. 14	連合軍、北京を解放	40	1907	11. 26	満鉄創立。初代総裁に後藤新平
		11. 9	露、ハルビン-旅順間の東清鉄道南部支線敷設権を獲得	41	1908	4. 1	満鉄、営業を開始
34	1901	6. 2	第1次桂太郎内閣発足	42	1909	7. 14	後藤総裁退任し、第2次桂内閣連任に
		9. 14	米マッキンレー大統領暗殺。第26代大統領にセオドア・ルーズベルト	43	1910	11. 26	朝河貫一(エ・狀觀)、「日本の禍機」
		9. 21	小村寿太郎、桂内閣外相に就任	44	1910	10. 26	伊藤博文、ハルビンで暗殺。68歳
		11. 3	東清鉄道南部支線が仮開通	45	1912	8. 22	日韓併合条約調印
35	1902	1. 30	日英同盟調印	大正 3	1914	7. 30	明治天皇崩御
		4. 8	露、清国と満州撤兵協定調印	4	1915	7. 28	第1次世界大戦始まる
36	1903	4. 8	露軍撤兵期限を守らず満州に居座る			1. 18	日本、遼東半島租借権の99年間延長など「21か条要求」を中国に提出
		7. 1	東清鉄道南部支線、正式に開通	8	1919	5. 9	中国受諾。「国恥記念日」となる
		8. 12	露、旅順に極東総督府設置	9	1920	4. 12	関東都督府を廃止。関東軍を新設
		10. 12	参謀本部次長に児玉源太郎	12	1923	10. 1	第1回国勢調査実施
		11. 18	米、パナマ運河の永久租借権獲得	13	1924	12. 27	難波大助、摂政宮狙撃(虎ノ門事件)
37	1904	2. 4	御前会議、対露交渉の打ち切り決定	船 4	1929	2. 25	正力松太郎、読売新聞社長に就任
		2. 10	露に宣戦布告。日露戦争始まる	6	1931	4. 13	後藤新平死去。72歳
		2. 24	対米工作に金子堅太郎、戦費調達の外債募集に高橋是清渡米	7	1932	9. 18	柳条湖で満鉄爆破。満州事変始まる
		6. 20	満州軍総司令部編成。総司令官大山巖、総参謀長に児玉源太郎	9	1934	3. 1	満州建国。執政に溥儀(9年3月・皇帝)
		8. 19	旅順の第1回総攻撃始まる	12	1937	11. 1	特急「あじあ」、大連-新京間を走る
38	1905	12. 8	桂、政友会の支持を求め原敬と会談	14	1939	12. 1	丹那トンネル開通。東海道路線変更
		1. 1	旅順陥落	15	1940	7. 7	盧溝橋事件。支那事変始まる
		1. 14	ル大統領、戦後の満州について「清国返還」の見解を金子堅太郎に表明	16	1941	9. 1	独軍ポーランド侵攻。第2次世界大戦
		3. 10	日本軍、奉天占領	20	1945	9. 27	日独伊三国同盟、ベルリンで調印
		5. 27	日本海海戦でバルチック艦隊を破る			11. 24	最後の元老西園寺公望死去。91歳
		6. 9	ル大統領、日露両国に講和会議提案			4. 13	日ソ中立条約、モスクワで調印
						11. 3	正力、水沢(颯輔)に「後藤伯記念公民館」を贈る
						12. 8	真珠湾攻撃。太平洋戦争始まる
						8. 9	ソ連、中立条約を破り満州へ侵攻
						8. 15	敗戦